

筋質は非アルコール性脂肪性肝疾患の臨床病態 に影響する重要な要因である

正田純一 先生

(筑波大学 名誉教授 医学医療系 客員教授)

令和5年11月16日(木) 18:30~20:30

ウェブセミナー

筑波大学の学生・教職員の皆様はオンサイト出席可能です

(筑波大学総合研究棟D棟1階117)

本研修会では、非アルコール性脂肪性肝疾患（脂肪肝）の発症や進展には、内臓脂肪型肥満やサルコペニア（筋萎縮）をはじめとする体組成の異常、骨格筋の劣化が関連することが報告されています。しかしながら、それらの病態解明は未だ十分ではありません。本講演では、脂肪肝患者における骨格筋の筋量、筋力、筋組成を解析し、筋質の劣化が筋-肝連関を介して、脂肪肝の臨床病態、特に生命予後因子である肝線維化進展に及ぼす影響について概説します。

今回の勉強会では、筑波大学 正田純一先生に「筋質は非アルコール性脂肪性肝疾患の臨床病態に影響する重要な要因である」の演題で、お話していただく予定です。ウェブセミナー受講希望の方は、11月10日(金)までに下記QRコード・URLからお申し込み下さい。

この講演会は日本プライマリ・ケア連合学会茨城県支部とアール医療専門職大学、茨城県理学療法士会の後援を受けています。この講演会に参加されますと、日本プライマリ・ケア連合学会 認定医1単位と認定薬剤師1単位が取得できます。

また、フロンティア医科学の医科学セミナーⅣ（プライマリケア）の一部となっています。

【申し込みフォーム】

<https://forms.gle/TTr2ZS9VPCviBzuB8>

申し込みは
こちらから

